

## ローマ 8 章 26-39 節 私訳 関連聖句

8 章 22-25 節抜粋 「被造物のすべては、ともにうめています、またともに産みの苦しみをしています…そればかりか、御霊の初穂を受けている私たち自身も自分の中でうめています…私たちの身体が贖われることを待ち望みながら

それは、望みにおいて私たちは救われたからです…まだ見ていないものを望んでいるのですから、私たちは忍耐をとおして待ち望みます」

26,27 節 「そして同じように御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。私たちは何をどのように祈る必要があるかさえも分かりません。しかし、御霊ご自身がことばにならない (too deep for words) うめきをもって、とりなしてくださいます。(人の)心を探る方は、何が御霊の思いであるかを知っておられます。なぜなら御霊は神(のみこころ)にしたがって、聖徒のためにとりなして下さっているからです。」

28-30 節 「私たちは知っています。神を愛する人たちのためには、(御霊が)すべてのことを働かせて益(善)としてくださる(すべてのことがともに働いて益(善)となる)ことを、それはご計画にしたがって召された人たちのためです。それは神があらかじめ知っている人たちを御子のかたち (the image of his Son) と同じ姿にあらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子なるためです。

神は、あらかじめ定めた人たち、この人たちをさらに召し、召した人たち、この人たちをさらに義とし、そして義とした人たち、その人たちにさらに栄光を与えられました」

31,32 節 「それでは、何を言えるでしょう、これらのことに対して、もし神が私たちの味方なら、だれが私たちに敵対するでしょう。

この方は、ご自身の御子をさえ惜しみませんでした。かえって私たちのためにこの方を(死に)引き渡されたのです。それならば、どうして、御子とともにすべてのものを私たちに恵んでくださらないことがあるでしょうか」

33,34 節 「だれが、神に選ばれた者たちを告発するのですか。神が義とされるのです。だれが罪に定めるのですか、キリスト・イエス、この方は死んでくださった、いやよみがえってくださったのです。この方は、神の右の座におられます。そしてこの方は私たちのためにとりなしていてくださるのです」

35-37 節 「だれが、私たちがキリストの愛から引き離すことになるというのですか。患難(苦難)ですか、苦境(行き詰まり、苦悩)ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。それはこう書かれているとおりです。『あなたのゆえに私たちは一日中、死に渡されています。まるで屠られる羊と見なされています。』

しかし、これらすべてにおいても、私たちは圧倒的な勝利者です(勝利者を超えた者となっています)、私たちが愛して下さった方とおしてのことです。」

8 章 38,39 節 「それは、私は確信させられたからです、死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今ある者も、後に来る者も、力ある者も、高いところにある者も、深いところにある者も、そのほかのどんな被造物も、私たちが引き離すことを可能にすることはあり得ないからです、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から」

## 関連聖句

8 章 15, 16 節 「あなたがたが、再び恐怖に陥れる奴隷の霊を受けたからではない…息子とされる霊(the Spirit of sonship)を受けたのです。それによって私たちは『アバ、父』と呼びます。御霊ご自身が私たちの霊とともに証してくださいます、私たちが神の子ども(テクナ)であることを。」

8 章 17 節 「私たちは…キリストとの共同相続人でもあります。それは、私たちが主と苦難をともにしているからですが、それは主とともに栄光を受けるためでもあります」  
イザヤ 50 章 5-9 節 「<sup>5</sup> 神である主は私の耳を開いてくださった。私は逆らわず、うしろに退きもせず、<sup>6</sup> 打つ者に背中を任せ、ひげを抜く者に頬を任せ、侮辱されても、唾をかけられても、顔を隠さなかった。 <sup>7</sup> しかし、神である主は私を助けてくださる。それゆえ私は侮辱されることがない。<sup>8</sup> 私を義とする方が近くにいてくださる。だれが私と争うのか。さあ、ともに立とう。だれが私をさばく者となるのか。私のところに出て来るがよい。<sup>9</sup> 見よ。神である主が私を助けてくださる。だれが私を不義に定めるのか。」

詩篇 110 篇 1 節 「ダビデによる。賛歌。主(ヤハウェ)は私の主(アドナイ)に言われた。『あなたは わたしの右の座についていなさい』」

イザヤ 53 章 12 節 「彼は多くの人の罪を負い、背いた者たちのために、とりなしをする」  
ヘブル 7:25 大祭司イエスの働き、「したがってイエスは、人々を完全に、永遠に救うことができになります、ご自分によって神に近づく人々を。それはこの方がいつも生きていて、彼らのためにとりなしをしておられるからです」

詩篇 44 篇 22,23 節 「あなたのために、一日中(休みなく)、私たちは殺され、屠(ほ)られる羊のように見なされています。起きてください。なぜ眠っておられるのですか、主よ。目を覚ましてください。いつまでも拒まないでください」

I コリント 5 章 16-18 節 「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。これがキリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。御霊を消してはいけません (Do not quench the Spirit.)」